

《プロジェクト名 高泌乳牛の導入による昭和酪農発展プロジェクト》

市町村	新庄市	対象地域	新庄もがみ農協管内	分野	畜産
実施主体名	新庄もがみ農業協同組合北部営農センター昭和酪農部	代表者氏名	保角 義文	住所又は主たる事務所の所在地・連絡先	新庄市大字鳥越字南沢山神沢2080番地 電話 0233-28-2215 (新庄もがみ農協)
実施主体構成	新庄市昭和管内酪農家 17名				

プロジェクト目標 (5年後)	産出額 (増加額)	471,000千円 (123,000千円)				
	独自の目標項目	新庄市昭和管内酪農農家では、飼育頭数を堅持し産出額を増加するため、産乳能力の改善による生産性向上が急務である。高泌乳牛を早急に整備し、管内牛群の高位斉一化と飼養管理技術の向上に努め、農家収入増加を図る。				
各年次目標	現 状	1年目 (H21)	2年目 (H22)	3年目 (H23)	4年目 (H24)	最終年 (H25)
	産出額	348,000千円	393,000千円	452,000千円	471,000千円	471,000千円
	飼育頭数	422頭	430頭	480頭	500頭	500頭
プロジェクト概要	◎実施方針	泌乳能力の判明している乳牛のうち、高位生産可能な乳牛の導入を図る。				
	○産出額の増大	123,000千円				
	○雇用の創出	経営安定化により、大規模酪農家による雇用創出を図る。 (平成25年雇用人数 13,82人/日)				
	○創意工夫	従来から、当酪農部会が独自で生乳の体細胞検査を実施し品質向上に努めてきたが、更に高泌乳牛の導入し、その後継牛を自家保留することで牛群の高位斉一化を進めていく。また、牛群の改良に伴う飼養管理技術の改善と、地域ブランド牛乳「最上の牛乳」の普及に努める。				
	○実現性	昨今の飼料価格高騰で、飼料代の経営に占める割合が高くなっており、乳量向上による経営改善が強く求められている。今回の事業実施により高泌乳牛群を整備することで経営改善が図られる。				
	○地域への波及効果	今回の事業により部会活動を実施することで、自給飼料生産を初め、共同作業の再構築が図られる。				
	○その他					

事業計画		実施年度 (平成21年度)	実施年度 (平成22年度)
	事業内容	高泌乳牛の導入 6頭	高泌乳牛の導入 59頭